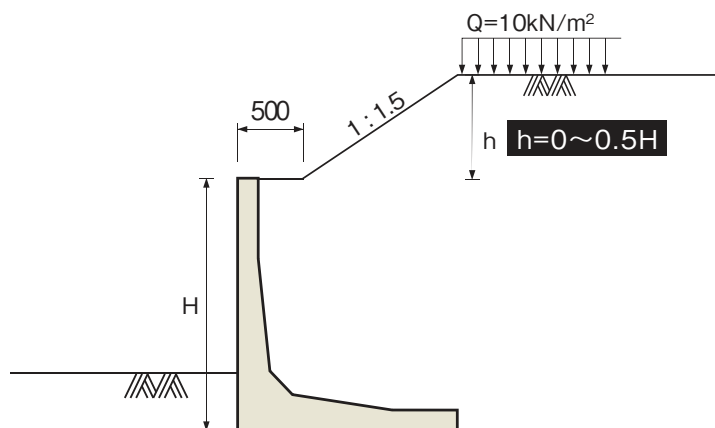


LウォールⅡ型



高さ5mまで対応可能な道路用L型擁壁です。



特長

- 1 擁壁の高さ**
製品の高さはH500～H5000までご用意しています。
- 2 上載荷重**
 $Q=10\text{kN/m}^2$ (T-25相当)まで対応できます。
- 3 防護柵**
歩行者、自転車用防護柵(種別P種)が取付け可能です。
- 4 背面盛土**
0.5Hまでの盛土に対応しています(上記参照)。
- 5 曲線設置**
標準品で $R\geq 60\text{m}$ まで対応できます。
その他の条件は担当係員にご相談下さい。

※種別P種 設計強度：垂直荷重590N/m
：水平荷重390N/m
設置目的：転落防止

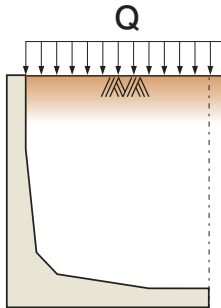
設計条件

設計荷重（載荷方法は下図によります。）

○ ケース I

安定検討
1. 支持力

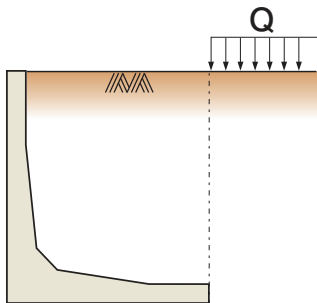
構造検討



設計条件

土の内部摩擦角…………… $\phi = 30^\circ$
 摩擦係数…………… $\mu = \tan\phi = 0.577$
 土の単位体積重量…………… $\gamma_s = 19\text{kN/m}^3$
 コンクリートの単位体積重量… $\gamma_c = 24.5\text{kN/m}^3$
 上載荷重…………… $Q = 10\text{kN/m}^2$ (T-25相当)

○ ケース II

安定検討
1. 滑動
2. 転倒

安定条件

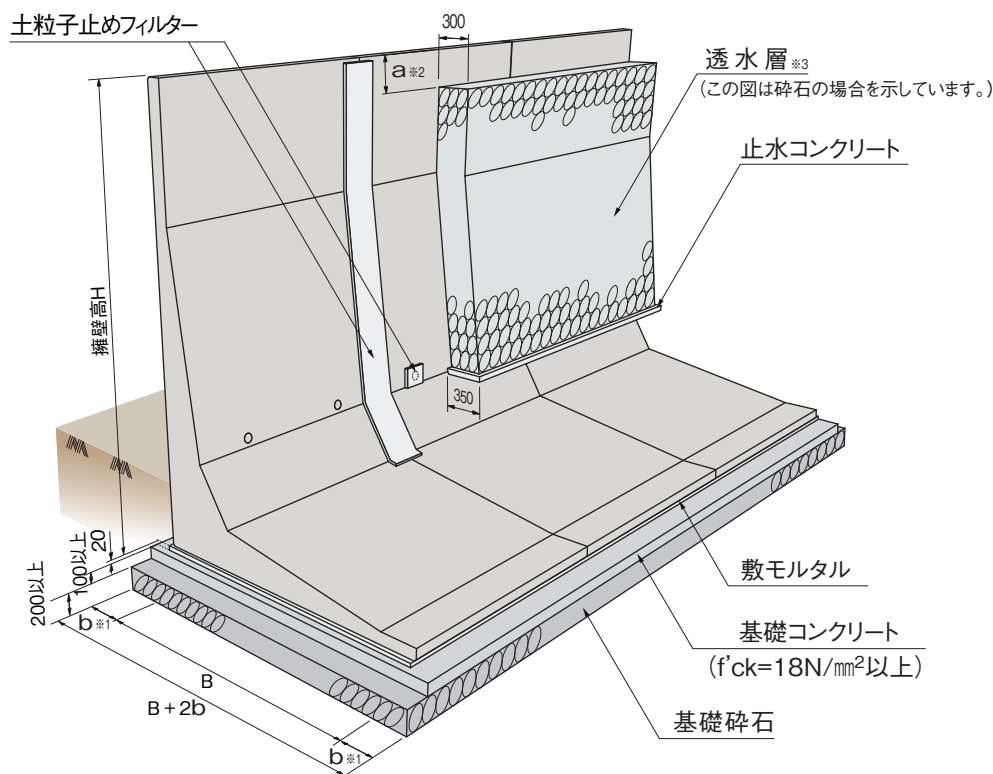
検討項目		安定条件
安定	転倒 (e: 合力の偏心量)	$e \leq B/6$ (B: 底版幅)
	滑動 (F_s : 安全率)	$1.50 \leq F_s$
	支持力 (q: 地盤反力)	$q \leq q_a$ (許容支持力)
構造	コンクリートの圧縮応力度 (σ_c)	$\sigma_c \leq \sigma_{ca}$ (許容応力度)
	コンクリートのせん断応力度 (τ_c)	$\tau_c \leq \tau_{ca}$ (許容応力度)
	鉄筋の引張り応力度 (σ_s)	$\sigma_s \leq \sigma_{sa}$ (許容応力度)

標準施工断面図

(単位:mm)

※1) $H \leq 3000$ の場合は $b=50$ 、 $3000 < H$ の場合は $b=100$ になります。※2) $H \leq 1000$ の場合は $a=100$ 、 $1000 < H$ の場合は $a=300$ になります。

※3) 透水層に透水マットを使用する場合は、「擁壁用透水マット技術マニュアル」に規定されている材料を使用して下さい。

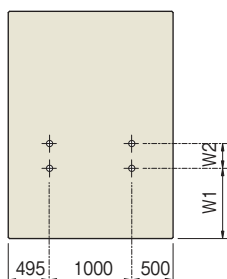


寸法図

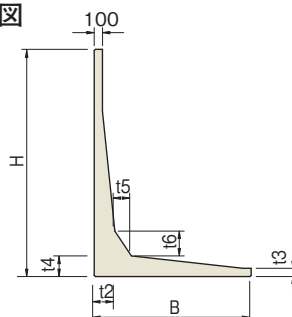
(単位:mm)

一般タイプ

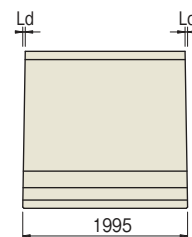
正面図



側面図

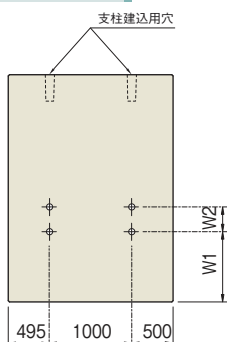


平面図

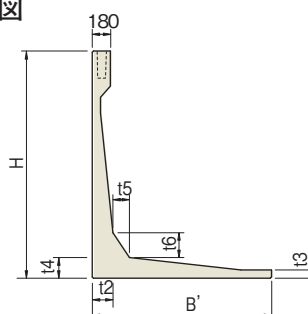


支柱基礎付きタイプ

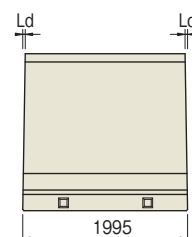
正面図



側面図



平面図



寸法表

呼び名	寸 法 (mm)											水抜き穴 (箇所)	参考重量 (一般タイプ) (kg)	参考重量 (支柱基礎付きタイプ) (kg)
	H	B	B'	t2	t3	t4	t5	t6	Ld	W1	W2			
500型	500	700	700	100	100	100	100	100	30	—	—	—	563	—
600型	600	700	700	100	100	100	100	100	30	—	—	—	612	—
700型	700	800	800	100	100	100	100	100	30	—	—	—	710	—
800型	800	800	800	100	100	100	100	100	30	650	—	1	760	995
900型	900	800	800	100	100	100	100	100	30	650	—	1	809	1035
1000型	1000	900	900	100	100	100	100	100	30	650	—	1	907	1123
1100型	1100	1000	1000	100	100	100	100	100	30	650	—	1	1005	1333
1200型	1200	1000	1000	100	100	100	100	100	30	650	—	1	1054	1373
1250型	1250	1000	1000	100	100	100	100	100	30	650	—	1	1079	1393
1300型	1300	1200	1200	100	100	100	100	100	30	650	—	2	1201	1435
1400型	1400	1200	1200	100	100	100	100	100	30	650	—	2	1250	1475
1500型	1500	1200	1200	100	100	100	100	100	30	650	—	2	1300	1615
1600型	1600	1300	1300	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1515	1745
1700型	1700	1300	1300	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1564	1785
1750型	1750	1300	1300	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1589	1805
1800型	1800	1500	1500	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1614	1945
1900型	1900	1500	1500	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1664	1985
2000型	2000	1500	1500	120	100	120	120	120	35	650	—	2	1713	2025
2100型	2100	1600	1600	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2336	2565
2200型	2200	1600	1600	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2385	2605
2250型	2250	1600	1600	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2410	2625
2300型	2300	1800	1800	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2530	2765
2400型	2400	1800	1800	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2580	2805
2500型	2500	1800	1800	170	100	170	150	150	45	650	—	2	2629	2845
2600型	2600	1900	1900	250	100	250	200	300	30	850	—	2	3847	4083
2700型	2700	1900	1900	250	100	250	200	300	30	850	—	2	3897	4123
2750型	2750	1900	1900	250	100	250	200	300	30	850	—	2	3922	4143
2800型	2800	2100	2100	250	100	250	200	300	34	850	—	2	4043	4283
2900型	2900	2100	2100	250	100	250	200	300	34	850	—	2	4093	4323
3000型	3000	2100	2100	250	100	250	200	300	34	850	—	2	4143	4363
3250型	3250	2200	2200	340	100	340	280	440	35	850	300	4	5985	6205
3500型	3500	2400	2400	340	100	340	280	440	39	850	300	4	6206	6425
3750型	3750	2500	2500	340	100	340	280	440	40	850	300	4	6378	6598
4000型	4000	2700	2700	340	100	340	280	440	43	850	300	4	6598	6818
4250型	4250	2800	2800	430	100	430	400	550	45	1050	300	4	9620	9840
4500型	4500	3000	3000	430	100	430	400	550	48	1050	300	4	9839	10060
4750型	4750	3100	3100	430	100	430	400	550	50	1050	300	4	10011	10233
5000型	5000	3300	3300	430	250	430	400	550	53	1050	300	4	10435	10655

※1) 底版長3200mmを超える場合は底版が2分割になります。5000型の参考重量は分割した部分を含む重量になります。

2) 上記の数値は背面盛土が0Hの場合です。

取扱地域

北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P572)にお問い合わせください。

施工歩掛り

(10m当り)

		単位	数 量																
据付工	擁壁高：H	m	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
	底板幅：B	m	0.90	1.00	1.20	1.30	1.50	1.60	1.80	1.90	2.10	2.20	2.40	2.50	2.70	2.80	3.00	3.10	3.30
	L型擁壁	個	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	世話役	人	0.22	0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.83
	ブロック工	人	0.22	0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.83
	普通作業員	人	0.67	0.79	0.79	0.79	0.79	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.49
	バックホウ賃料(2.9t吊)	日	0.22																
	ラフテレンクレーン賃料(25t吊)	日		0.26	0.26	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	
	ラフテレンクレーン賃料(35t吊)	日																	0.83
諸雑費	%	16	18	18	18	18	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	
雑工種	基礎砕石	%	45	53	53	53	53	60	60	60	60	60	66	66	66	66	66	66	66
	均しコンクリート	%	74	87	87	87	87	98	98	98	98	98	98	108	108	108	108	108	108
	日当たり施工量	m	45	38	38	38	38	30	30	30	30	30	30	24	24	24	24	24	24
グラウト工	世話役	人																	1
	ブロック工	人																	1
	普通作業員	人																	2
	SSモルタル	袋																	8.1

- 注) 1) 本歩掛りは、運搬距離10m程度までの小運搬を含むものであり、床掘り、埋戻し、残土処理は含まない。
2) 現場条件により、上表によりがたい場合は、別途考慮する。
3) 諸雑費は、敷きモルタル、目地モルタル、排水材の費用であり、労務費、賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
4) 雑工種も、労務費、賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお雑工種に含まれる内容は次のとおりである。
[基礎砕石] 敷設・転圧労務・材料投入・締め機械運転経費、砕石等材料費
[均しコンクリート] 打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホッパ・パイプ・レタ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費
5) 国土交通省土木工事積算基準(平成24年度版)参照。
6) 上記の数値は、背面盛土がOHの場合です。

標準規格外品について

- (1) 製品の天端を斜切りにすることができます。

[一般タイプ] 勾配…25%以下とします。

[支柱基礎付きタイプ] 勾配…12.5%以下とします。

*単体での最大勾配を示しており、支柱建込用穴の深さは別途検討が必要になります。

- (2) 製品の短寸は995mmの長さまで対応することができます。

- (3) オプションで前面壁に化粧を施すことができます。

化粧部分の意匠厚は40mm相当まで対応可能です。

